

2024年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名 【南千住駅前保育所】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	B	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	B	B
評価の根拠 保育理念・保育方針については、理解し日々の保育に生かしているという回答が多く、一人ひとりの子どもに寄り添った保育を心掛けることが出来ているといった意見が大半を占めている。 また、新たな取り組みとして地域との交流として今年度は町探検などを実施した。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	B	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	B
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	B	B
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B	B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 保育については、よいという意見が多い。 しかし、根拠をみると情報共有や意思の疎通といったことに課題を感じている職員も多々あり、現状の保育に問題意識をもっている。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	B	B
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	B	B
評価の根拠 健康管理については、概ねよいという意見が大変を占めている。 よいという回答に対する根拠としては、看護師を中心に衛生管理に努めている。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	B	C
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	B	C
評価の根拠 行事については、よいという意見もあるが、一部改善が必要と捉えている方と半々となっている。 よいという回答に対する根拠としては、昨年度に引き続き今年度も新たな行事を行っており、日々の保育の延長線上の行事として、何かをするのではなく子どもたちの主体性を尊重し、ねらいや計画はクラスごとに考え話し合いにより行われている。とする一方、やらされている感や行事の役割、内容に疑問をもっている保育士もいるため、次年度以降は行事への意思疎通や開催する意図などの理解に努める必要がある。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	B
評価の根拠 食育については、よいという意見が大半であるが、一部改善が必要と捉えている方もいる。 よいという回答に対する根拠としては、モリモリさんがクラスに来てくれている。また、今年度は様々な食育活動が出来ている。なお、一部の意見としてリーダー以外も調理師と話す時間を設けたいという意見もある。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 よいと見る意見もあるが、回答の根拠では会議に対する問題意識が見受けられる。課題としては、会議の時間について改善を求める声が上がっている。 次年度以降は会議の必要性や簡略化を検討していく必要がある。		

自己評価の観点		前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		B	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		B	B
③ 事故や災害に適切できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		B	B
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている		B	B
評価の根拠	保健・安全指導については、よいという意見となっている。 よいとする根拠としては、看護師との報告、連絡、相談が出来る。また、今年度より行っている予告なしの避難訓練に対して職員の安全に対する意識改革につながっている。		
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		B	B
② 研修報告を園内で実施している		B	B
評価の根拠	研修については、よいという意見が大半である。 よいとする根拠としては、研修を受けることで学びになり、参加したい研修に参加できているといった意見がある。その一方、研修報告に参加する保育士が少ない。また、研修が多すぎて保育の人数が足りない時もあり、研修報告の作成が業務負担となっているといった意見もある。		
9. 情報管理について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		B	B
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		B	B
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		B	B
評価の根拠	個人情報については、よいという意見が大半である。 よいとする根拠としては、個人情報の漏洩や守秘義務を意識し、十分に注意を払い管理し、職員間で周知が出来る。		
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		B	B
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		B	B
評価の根拠	設備については、よいという意見が大半を占めているが、一部改善を要するといった意見もある。 よいとする根拠としては、掲示板の活用、安全確認などが出来る。一部改善が必要な意見としては掲示板的活用について更なる工夫が必要である。		
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		B	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている		B	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		B	B
評価の根拠	保護者支援については、「たいいんよい」「よい」という意見が大半であり、一部改善を要するといった意見もある。 よいとする根拠としては、保護者に子ども達の様子を丁寧に伝え、コドモンなどで困っていることがある場合には、お迎え時等に直接お話しするよう心掛けている。また、保護者が話しやすい雰囲気職員みんなが作れている。なお一部の意見として、職員間でも挨拶が出来ていないことがあり、このことは利用者調査アンケートでも意見として伺っていることから挨拶の周知徹底を図りたい。		
12. 開かれた園づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		B	B
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している		B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		B	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		B	B
評価の根拠	開かれた保育所については、よいという意見が大半を占めているおり、一部改善を要するというアンケート結果になっている。 よいとする根拠としては、一時保育、病後児保育、特に子育てサロンを行い地域とのコミュニケーションがとれている部分で開かれた保育所と捉えているのが大半を占めている。また、今年度は子育てサロンの利用も増え保育所体験では在園児との交流も行った。		
13. 情報発信について			
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている		B	B
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている		B	B
評価の根拠	情報発信については、よいという意見が大半を占めている。 よいとする根拠としては、ブログ更新及びほほかほか日記やブログなどで情報提供が行えている。一方、適切な言葉かけについて一部気になるといった意見もある。		
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけや関わりをしている		B	B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		B	B
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている			B
評価の根拠	人権擁護については、よいという意見が大半を占めており、一部改善を要するというアンケート結果になっている。 よいとする根拠としては、日々の保育の中で園児達の人格を尊重し常に同じ目線で関わる事ができるよう努力し、特に国籍や文化での大きな違いがある家庭にも寄り添い、差別なく保育を行っている。とする一方、発言や言葉遣いについては更なる注意を図る必要があるといった意見もある。		
15. 総括			
年間をとおしての振り返り、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。			
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点			
開かれた保育所として様々なイベントなど企画し在園児が地域の大人や子どもと関わる機会が多くあり充実していた。また、新しい職員が増えたことで若干ではあるが意識改革が芽生えた。など前年より改善できたとする意見が多い中、一部、行事が増えているなど負担に感じている職員もいる。			
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点			
職員同士の関わりに冷たい雰囲気を感じることもあるので、報告連絡相談はこまめにこなして行なって全体周知したり、助け合う雰囲気があればもう少し職員の心に余裕が出来て子どもにも良い影響を与えることが出来るのではないかと感じるので、まずは自分から動いて、発信するなど相手を思いやって過ごしていきたい。			